

認知症に関する活動計画(概要)

栃木県作業療法士会では、地域共生社会推進部として訪問・通所リハビリテーション推進部門、認知症ケア推進部門、障害児・者福祉推進部門があり、地域共生社会の実現とそこに作業療法士として積極的に参画できるよう、座談会や研修等を実施しています。

認知症ケア推進部門では、昨年より関係を構築することができた、「認知症の人と家族の会」との連携事業や協力を行いながら、地域での認知症活動に興味・関心をもってもらうこと、実施に地域で活動してみることを目的に事業を展開していく予定となっています。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

認知症の人と家族の会との連携事業

令和6年度認知症ケア推進部門で開催したオレンジサロン石蔵カフェでの座談会をきっかけに「認知症の人と家族の会」栃木県支部の方よりお声を頂き、令和6年度認知症フレンドリーフェスタにオレンジサロン石蔵の一員として参加させて頂きました。栃木県宇都宮市の認知症サロンが一堂に会してのフェスタであり、実際に地域で認知症の方を支えている方々のお話しをお伺いすることができ、また、今後認知症ケア推進部門として作業療法士がお手伝いできること、作業療法士としての役割などをお伝えすることが出来ました。

世界アルツハイマーデー
令和6年度 みんなで考える認知症月間

主催：公益社団法人認知症の人と家族の会
栃木県支部

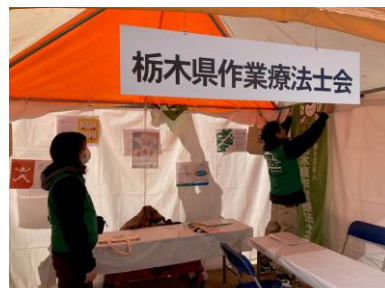


とちぎオレンジFES 2025への出展

下野新聞主催の「とちぎオレンジFES2025!」にて、一般社団法人栃木県作業療法士会のブースを出展し、日本作業療法士協会のリーフレット類を用いた作業療法の紹介、コグニサイズのデモンストレーション、机上課題の体験、介護相談を実施しました。

作業療法の啓蒙活動だけでなく、活動を通して栃木県シルバー人材連合会の方々と繋がりができ、那須烏山市での介護予防事業の依頼を受け実施しました。

来場者を呼び込むために様々な工夫(コルクボードによる展示、子供向けのガラポン、シミュレーション機材の活用等)をしており、今後の活動の参考となりました。



認知症カフェでの座談会

栃木県作業療法士会では昨年度より「認知症の人と家族の会」が運営するオレンジサロンや、地域で活動している認知症カフェなど、実際の活動現場に赴く、体験型の座談会を本年度も開催予定となっています。

昨年度の参加者の感想より、参加者のお子様が一緒に参加できるなど和やかな雰囲気であった、地域の活動に参加・参画してみたくなったとの意見がある一方、医療現場との繋がりも重要である為、作業療法士だけでなく、様々な職種の方が入った方が地域で認知症を支えることに繋がるのではという意見を頂きました。それを、踏まえ今年度は、より多くの職種の方々が参加でき、職種を超え連携して地域の認知症ケアを推進する一助となるような座談会を検討しています。

